

第8回おおいした切り抜き新聞グランプリ

わくわく 尽きない好奇心

入賞特集

審査委員長講評

堀泰樹さん(県NIE推進協議会長、大分大名教授)

同じ食材を使っても、作る人によって盛りつけも味も違います。切り抜き新聞も、それに似ています。テーマに沿って取り合わせられ、何げなく見過ごしていた過去の記事が新たな装いでよみがえります。記事本文にマーカーで強調したり、写真や図版を中心にまとめたり、自分でイラストを描いたり、彩り豊かな紙面に仕上げたりしている作品を目にする

ことができました。情報をビジュアルに表現する力には感心します。世界的に懸念・課題となっていることや政治など、社会に目を向けた作品にも注目させられます。

また、書き込みからは、新聞記事を丁寧に読んでいることがうかがわれました。ただ、書き込みが切り抜き記事より多くの紙面を占める作品もありますが、複数の記事の組み合わせを工夫するようにしてはいかがでしょうか。

応募作品の中に、「切り抜き新聞は、一つのテーマを決め、まとめるのでいつものとは違う見方ができ、新たな発見がある」というコメントがありました。新聞の記事を読み、考え、意味づける力の成長を感じました。

審査員評

田辺玲子さん(日田教育事務所次長、日本新聞協会認定NIEアドバイザー)

県内にとどまらず、国内外の政治や社会情勢をテーマにした作品が印象に残りました。特に中高生が地方から広く世界にまで関心を持ち、新聞を読んでいることは大変頼もしいと感じました。

滝口忍さん(県教育庁義務教育課指導主事)

新聞に触れることでそれぞれの思いや考えが広がったり深まったりした様子が伝わり感心しました。さらに一つのテーマについて見る角度を変えるなどの工夫がチャレンジしてきてほしい。

小田圭之介さん(大分合同新聞社常務執行役員総合企画局長)

同じ新聞でも、その読み方は十人十色。丁寧に時間をかけて取り組んだ力作ばかりで見入りました。複数の記事を組み合わせると、新たな視点が浮きかび上がってくるのが面白さだと感じました。

高野学さん(大分合同新聞社編集局長兼ニュース編集部長)

小中学生が国際情勢や政治などのテーマでまとめていることに驚きました。ニュースをよく見ていることが分かります。今後も追いかけてほしいし、新たな分野にも興味を持ってほしい。



入賞作品がすべてご覧いただけます。切り抜き新聞ページのQRコード



教育に新聞を

- ◆学校賞◆
- 杵築市豊洋小学校
- 杵築市大内小学校
- 大分市城南小学校
- 中津市本耶馬溪中学校
- 竹田市竹田南中学校
- 佐伯市米津中学校
- 佐伯豊南高校
- 白杵支援学校

ファミリーの部

ゆめか 平田夢夏・敏教・由紀子さん
大分市日岡小5年・父・母



ほっこりする話題考えた

夢夏さんの話 細かいイラストと色塗りに時間がかかりました。受賞報告を聞いて声を上げて喜びました。

敏教さんの話 今、大分でどんな話題がほっこりするのを考えました。由紀子さんの話 この喜びが娘の次の挑戦につながってくれたらとてもうれしいです。

- ▼家族で話し合い、理解を深めていったのだから。
- ▼家族で笑顔になるものがある。
- ▼挿絵とコメントも盛り込んでうまく表現。
- ▼家族で談笑しながら取り組む様子が浮かぶ。

学生・一般の部

きよもと 清源 遙冬さん
九州大4年



考えてもらえるよう構成

清源さんの話 読者が生物多様性に興味を持つきっかけとなるような紙面作りを心がけました。まず生物多様性の重要性と現状を伝え、最後に多様性の保全に向けて私たちができることを考えてもらえるように構成を工夫しました。

- ▼一つの記事では見えにくい全体像が見えてくる。
- ▼小さな記事までよく読みとめている。
- ▼さまざまな視点からの記事を取り上げている。
- ▼新聞がライフワークを豊かにするツールであってほしい。

高校生の部

さい 柴田 彩さん
佐伯鶴城高3年



地域一丸、前向きな姿発信

柴田さんの話 2022年は、中止や延期にされていた祭りや地域行事が再開となりました。そこで、数年ぶりの行事に地域一丸となって取り組む大分県民の姿を発信する前向きで明るい新聞にしようと考え、このおおいした祭り新聞を作ろうと思いました。

- ▼祭りの楽しさ、大切さが伝わってくる。
- ▼楽しさ、興奮が伝わる。彩りもよい。
- ▼見出し、写真、記事のバランスがよく、引きつける。
- ▼地域や福祉に目を向けた作品がよい。

中学生の部

ゆめ 工藤 結愛さん
竹田市竹田南中3年



握手から国の親睦深めて

工藤さんの話 地球温暖化や貧困など世界の問題が増えていて、国同士で協力しないといけないのに紛争や領土問題と、国同士の溝ができる出来事が多くなっています。そこで握手から国同士の親睦が深まって明るい未来になってほしいと思って作りました。

- ▼「握手」から首脳会談を考えた視点がユニーク。
- ▼独特な視点でうまくまとめている。
- ▼タイトルと取り上げた記事が大変興味深い。
- ▼政治、社会情勢をテーマにした作品に頼もしい。

小学4～6年生の部

つばき 田浦 葉月さん
大分市城南小5年



外国を知ってほしかった

田浦さんの話 最近、ウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイルなど、外国のニュースを見る機会が多くなりました。もっと知りたくなったので、外国新聞を作りました。パンクシーが作品を贈った記事があり、みんなに知ってほしいと思って強調しました。

- ▼新聞を通し海外に思いをよせる様子が目に浮かぶ。
- ▼今の外国をよく表し、ニュースをよく見ている。
- ▼世界の状況がよく伝わる。色使いの工夫もよい。
- ▼テーマに沿ってよくまとまっている。

小学1～3年生の部

いた 山口 憬大さん
大分市寒田小3年



言葉選びや配置など工夫

山口さんの話 とてもうれしいです。工夫したことは、記事にぴったりな言葉を選んだこと、記事の配置や色使い、イラストです。世界中すべての人や生き物がもっと笑顔になる未来が来るように、ぼくも勉強を頑張り、人との関わりを深めていきたいです。

- ▼新聞は未来へとつながっていることを実感させる。
- ▼未来へのワクワク感が伝わってくる。
- ▼農業、宇宙、医療など未来に抱く願いが伝わる。
- ▼未来を楽しみにしている様子が伝わる。



市尾くらすみれさん
中津市豊陽中2年



中丸 遼さん
大分市



大野 杏さん
大分南高3年



黒岩 凜奈さん
中津市津中2年



藤塚 咲妃さん
大分市寒田小6年



矢野 拓己さん
国東市安岐小3年

「おくやみ」 三重野文子(大分市)

「宇宙新聞23」 小野直子・谷喜美子・金川富美・谷直美・梶谷睦枝(豊田の社ほーかこ子ども教室)

「紙とデジタル～それぞれの特性を理解して併用～」 匂坂裕一郎(中津市)

「多様性新聞」 菊池真由(立命館アジア太平洋大4年)

「大分からGlobal♡SDGs」 堀田七彩(佐伯鶴城高3年)

「赤ちゃんポスト」 藪道海(大分南高2年)

「水害 刻まれた爪痕」 小川凜々(大分南高2年)

「『共生』『多様性』って素晴らしい」 森菜理(大分上野丘高1年)

「音楽の力で繋がるセカイ」 後藤衣奈(竹田市竹田南中3年)

「世論VS岸田政権」 釘宮音竹(竹田市竹田南中3年)

「大分トリニータ、J1復帰に向けて」 後藤未唯子(竹田市竹田南中2年)

「日本の安全保障」 小川颯太(中津市本耶馬溪中2年)

「全国で活躍『止まらない』大分県民」 藤原ゆな(大分市滝尾小6年)

「動物を守る新聞 Protect animals」 大友心晴(大分市大道小6年)

「大分の『飛びだせ!』輝く新聞達」 川野福華(大分市城南小5年)

「絵、本、映画を集めました」 今村虹心(大分市城南小5年)

「防災新聞」 山内愛己(大分市寒田小3年)

「ピース新聞」 長野有凜(大分市東大分小3年)

「いろいろ新聞」 長尾叶愛(大分市津留小1年)

グランプリ

準グランプリ

優秀賞